

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

猛暑となっていますが、皆さんはいかがお過ごしですか？

鳥取砂丘といえばラクダのイメージが強いですが、観光用の馬車を引っ張っている馬もいます。丸太のように足が太く、真夏でも客をたくさん乗せて頑張っています。しかし、そのため汗をかきすぎて、脱水症状を起こすことがあるそうです。

その時は人間同様に点滴をするそうです。競走馬の体重は平均で約400kgですが、馬車馬は800kg近くあるそうなので、点滴量はなんと10リットル（人は0.5～1リットル）。脱水症状が重篤であれば、100リットルも入れることがあるそうです。こんな量、する側もされる側も大変。しかも馬なので人のように大人しく寝てくれるわけはありません。

元競走馬のディープインパクトの安楽死が話題になっています。獣医の友人が「考えられる最高のスタッフで治療をしたと思うし、オペも成功したはず。でも術後、首にギブスをしただろうから安静にしてくれず、暴れたことによって全身麻痺になったんじゃないかな」と話していました。

引退後のディープインパクトは種馬として、1回の繁殖料金が4,000万円以上、それを年に200回も行っていたそうです。現役時代も引退後も競馬界で大活躍した競走馬に、安静にしてくれという言葉が通じなかったとしたら残念です。動物の治療は難しいですね。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子